

②必要性は認識しており、強く働きかけていきたい。都市型浸水対策を強化せよ

近年増加する都市型水害の減災策として、下水貯留施設の拡大や雨水貯留槽の

財政状況を詳細に分析し 将来を見据えた運営を

自由民主党議員 伊藤 正信



平成22年度決算状況をまとめた区の財政白書によると①特別区民税徴収率が23区平均と比べて低い。その理由は、②徴収率の推移は

③コンビニエンスストア納付導入の効果は、④徴収率向上への方策は、⑤人件費・公債費の削減額以上に増加している生活保護費が、今後の財政に大きな影響を及ぼすことが見込まれる。

区の見解は。

区 長 ①短期間で住所異動したり、比較的所得が低い若年層の納税者が多いことが理由と考えられる。

②19年度以降3年連続で低下していたが、22年度は微増した。③予想以上に利用率が高く、納税の利便性を高めたと考える。

④滞納処分強化が重要で、全庁規模での臨戸徴収などに努めた。⑤生活保護費の増大が財政に大きな影響を与えている。若年者などの就労支援を強化し、一般財源の圧縮を図りつつ、継続して国

設置促進を図ってはどうか。区 長 都に対し、妙正寺川・江古田川流域の雨水貯留施設整備を要望している。雨水貯留槽は防災や環境面での効果もあり、設置に関し普及・啓発を進める。

公園・公衆トイレに トイレレットペーパー設置を

無所属 むとう 有子



他の22区は公園・公衆トイレにペーパーを設置しているが、中野区は4カ所のみである。最低限のサービスとして設置すべきでは。

区 長 盗難などトラブルの要因となるため設置してこなかった。新設の際に可能な場所では設置する。

区有施設で電力調達入札を

電力小売自由化を推進する経産省は、電力調達入札により電気料金がほぼ半額になった。東京電力よりCO<sub>2</sub>排出係数も低く安価な電力を買うべきだ。①2010年度の区有施設の電気料金の総額は、②電力調達入札を実施すべきでは。

区 長 ①4億5千万円である。②安定供給、バックアップ体制の複数確保、

は反映しており、今後も地域の声に耳を傾けたい。

現在、区では(仮称)中央部防災公園をはじめ、6つの大規模公園整備に着手している。これらの計画策定時には地域の特色を生かし、意見をくみ取ることが必要だが、今後の進め方は

区 長 従前も計画、設計をまとめる各段階で意見交換会を開き、可能な意見

暫定利用中の(仮称)本町五丁目公園



頻繁な人事異動や 度重なる組織改正を改めよ

無所属 林 まさみ



危機管理担当や防災担当管理職の頻繁な異動や、度重なる組織改正は区民にも分かりづらく、組織運営上の問題がある。また、災害時のBCP(事業継続計画)の実効性や精度の点からも問題と考えるがどうか。

区 長 事業を適時適切に見直し、目標に向かって効率的・効果的な運営を行うため組織の見直しは、常に行っていくべきと考える。

雨水浸透対策の方針を問う

近年のヒートアイランド現象などにより都市型水害が増加している。これらの被害抑制に有効とされる雨水浸透対策について、区の方針は、どのようなものか。

区 長 都が策定した東京都豪雨対策基本方針の趣旨に従い貯留・浸透施設の設置促進に努めている。

改正介護保険制度に対する 区の姿勢を問う

無所属 近藤 さえ子



①介護保険制度は2012年4月に新たに改正される。今回の改正では地域の自主性を高めることが求められている。他の自治体に劣ることのないサービスが展開されなければならない。どのように取り組むのか。

②地元グループホームは地域の高齢者との交流に力を入れ、評判が良い。遠方の施設に入らなくて済む地域密着型サービスの認知症のグループホームが今後ますます必要となる。区の見解はどうか。

区 長 ①ニーズ調査を

行い、計画に反映する。また、他区の取り組み状況なども参考に検討したい。②高齢者が住み慣れた地域で生活できることは有意義と考へており、保健福祉審議会の答申を踏まえ、着実に整備していく。

水遊び施設じゃぶじゃぶ池の夏季開放期間を延長せよ

無所属 小宮山 たかし



じゃぶじゃぶ池は、年間たった30日しか使用できず、保護者から不満が出ている。暑い夏が続く中、児童館の休館も多く、遊べる公園も少ない。せめて開放期間を延長すべきではないか。

区 長 延長については、利用実績や区民要望、気候などを見極め判断していく。児童館乳幼児タイム充実を

児童館の乳幼児タイムは、保護者と乳幼児の居場所・交流の場として意義がある。しかし、学校の長期休暇中は休みになり、今年は、学校の夏休み38日間に対し、69日間も乳幼児タイムを休んだ児童館があるがなぜか。

区 長 児童館では、季節行事や学校の長期休暇などを勘案して期間を決めており、事業内容充実については今後さらに工夫したい。

震災に備えた 区や地域の人材活用を

無所属 石坂 わたる



①被災地支援を行った団体などの経験やスキルを中野の防災にどうか活かすのか。

②障害者と連携した防災訓練が行えるよう、区は防災会へ情報提供すべきでは。

区 長 ①震災のボランティアなどの支援受け入れ

の体制づくりに反映できるように検討を進めたい。②積極的に情報提供を行いたい。公益活動団体などの育成を

①組織の垣根を越えた情報交換や交流の場の提供が必要では。②公益活動団体などに対する育成や広報のあり方をどう考えているか。

区 長 ①交流機会の拡大について工夫したい。②職員の見直しを進める。NPO交流会や講座テーマに「活動紹介の手法」や「活動人材確保の手法」などを取り入れていきたい。

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

贈らない

求めない

受け取らない

ご利用 ください

●声の区議会だより

目の不自由な方のために、区議会だよりを朗読録音したカセットテープ「声の区議会だより」を発行しています。郵送により無料でお届けします。利用をご希望の方は、区議会事務局(電話3228-5585)まで。

また、区民活動センター、区立図書館、障害者福祉会館などで貸し出しもしています。視覚障害者の方へお知らせください。